

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

Evenな社会の実現～すべての人が平等に機会を得られる社会の実現～

売上高
9,859百万円営業損失
1,683百万円

② 中長期の経営戦略

1. エンタープライズDX事業

サービスの選択と集中完了。成長見込みサービスへの注力、生成AIを活用した新規サービス拡充、AI×ロボティクス事業の拡大

3. サードプレイスDX事業

テレキューブのラインナップ拡充と利用用途の拡大によるオーガニックな成長

2. イベントDX事業

コロナ後のポートフォリオ変化を基にしたオーガニックな成長。データを徹底活用するイベント効果分析による差別化

4. ポートフォリオ最適化

事業ポートフォリオの再編推進。成長領域への投資強化、TEN Holdings切り離し推進

③ 対処すべき課題

① 財務体質の改善

- ・TEN Holdings, Inc.のグループからの切り離し推進と投資回収の最大化
- ・有利子負債の削減と自己資本比率の改善
- ・ROI最大化を目的とした開発投資の適正化

② 売上成長の促進

- ・コア事業の強化と新規事業の創出
- ・エンタープライズDX、イベントDX、サードプレイスDXでの拡大
- ・MRRの成長、新規事業創出、社内外連携の強化

③ コンプライアンス対応

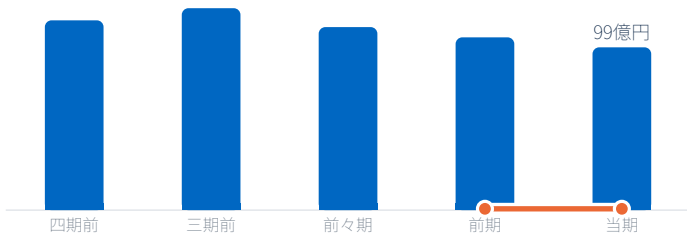
- ・特別調査委員会による調査への全面的協力（2026年4月24日設置）
- ・米国当局（USAO、SEC）による調査への対応。大陪審召喚状受領（2025年10月27日）
- ・不適切事象判明時の原因究明と再発防止策の迅速実施

面接で使えるポイント

- ・ビジュアルコミュニケーション技術を基盤にEvenな社会実現を目指す企業理念
- ・エンタープライズDX、イベントDX、サードプレイスDXの3事業領域で成長を追求
- ・2025年NASDAQ上場したTEN Holdings等、グループ全体で事業ポートフォリオ最適化を推進中

証券コード 3681

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
99億円営業利益率
▲17.1%財務健康度
1点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 39.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
674万円

情報・通信業内 255位/592社

平均年齢
37.3歳

情報・通信業内 344位/593社

平均勤続
8.0年

情報・通信業内 208位/593社

女性管理職
13.8%

情報・通信業内 185位/373社

男性育休
62.5%

情報・通信業内 236位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ウェビナー配信システムのバイキューブ上場廃止、米企業のM&A

